

平成31年度 授業改善推進プラン

第1学年 技術・家庭科

1 目指す学力・目指す授業

- ・基礎的・基本的な学力の定着を図り、生徒の学習意欲の向上を目指す。
- ・授業のねらいの明確化、指導内容の焦点化と流れの提示、反復学習による知識の定着化を図り、一単位時間の授業で何がわかり、何ができるようになったかを生徒自身が実感できる授業を組み立てていく。

2 生徒の現状<授業アンケートの結果から> ※太字：課題がある項目。

※「はい」「どちらかといえばはい」「どちらかといえばいい」「いい」の中から「はい」の割合

	技術	家庭	学年平均		技術	家庭	学年平均
忘れ物をしていない。	88%	91%	71%	目標をもって授業に	58%	53%	45%
授業がよくわかる。	47%	54%	53%	取り組んでいる			
授業が楽しい。	58%	60%	56%	学習目標や流れの説明がある	65%	62%	65%
評価方法がよくわかる。	29%	30%	28%	説明が丁寧でわかりやすい	70%	83%	68%
予習・復習をしている。	13%	14%	20%				

3 生徒の学力・学習状況等の課題

<技術分野>

- ・「授業がよく分かる」の割合が50%を割り、更に学年の平均値を下回っていることから、**授業への理解度の向上が課題**である。
- ・「評価方法がよく分かる」の割合が29%であることから、**評価方法への理解度の向上が課題**である。
- ・「予習・復習をしている」の割合が、13%であることから、**学んだことを家庭で生かしていない状況**である。

<家庭分野>

- ・共同作業の中で、調和をとりながら集中して取り組むことができる。
- ・評価にかかわる課題を理解しつつ、基礎的技術を身に付けることが求められる。
- ・授業で学んだ知識を復習として生活の中で生かすことが課題である。

4 具体的な授業改善策

<技術分野>

- ・「**授業内容の理解**」を向上させるための具体策→手本の提示の更なる充実。
めあてを明確にする。応用課題で深める。授業最後の振り返りを大切にする。分からなかった時、質問する以外に自分で判断できるように、手本の提示を更に工夫する。
- ・「**評価方法の理解**」を向上させるための具体策→評価した内容をより具体的に知らせる。
作品の評価状況を紙に印刷して渡すことにより、評価方法を理解してもらう。
- ・「**学んだことを家庭で活かす**」→家庭学習の課題を出す。
月に1回程度、授業で学んだことの確認プリントを課題として出し、家庭学習の定着を図る。

<家庭分野>

- ・生徒が主体的に学び、体験することを重視し、講義と実習を交互に取り入れる。
- ・ビデオ教材や実物投影機を用いて、視覚を通して分かりやすく伝わる授業を展開する。
- ・生活における課題を解決するために、言葉や図表等を用いて考えたり、説明したりするなどの言語活動の充実を図る。

2 学年 技術・家庭科

1 目指す学力・目指す授業

- ・基礎的・基本的な学力の定着を図り、生徒の学習意欲の向上を目指す。
- ・授業のねらいの明確化、指導内容の焦点化と流れの提示、反復学習による知識の定着化を図り、一単位時間の授業で何がわかり、何ができるようになったかを生徒自身が実感できる授業を組み立てていく。

2 生徒の現状<授業アンケートの結果から> ※太字：課題がある(50%以下でなおかつ学年平均未満)項目。

※「はい」「どちらかといえばはい」「どちらかといえばいい」「いいえ」の中から「はい」の割合

	技術	家庭	学年平均		技術	家庭	学年平均
忘れ物をしていない。	74%	67%	74%	目標をもって授業に	38%	35%	35%
授業がよくわかる。	36%	38%	37%	取り組んでいる			
授業が楽しい。	38%	31%	41%	学習目標や流れの説明がある	53%	45%	59%
評価方法がよくわかる。	29%	29%	31%	説明が丁寧でわかりやすい	52%	52%	60%
予習・復習をしている。	10%	11%	12%				

3 生徒の学力・学習状況等の課題

<技術分野>

- ・「授業がよく分かる」の割合が36%であることから、**授業内容の理解度向上が課題**である。
- ・「授業が楽しい」の割合が38%であることから、**授業に楽しんで取り組むことが課題**である。
- ・「評価方法がよく分かる」の割合が29%であることから、**評価方法への理解度の向上が課題**である。
- ・「予習・復習をしている」の割合が、10%であることから、**学んだことを家庭で生かしていない状況**である。

<家庭分野>

- ・学習目標・評価方法を理解できていない生徒が多く見られるため、評価にかかわる課題を理解することが求められる。
- ・成果物や完成までの近道を求めがちで、途中の経過観察や課題をとらえてじっくり考える機会が必要である。
- ・授業で学んだ知識を復習として生活の中で生かすことが課題である。

4 具体的な授業改善策

<技術分野>

- ・「**授業内容の理解**」を向上させるための具体策→**手本の提示の更なる工夫**。
めあてを明確にする。応用課題で深める。授業最後の振り返りを大切にする。分からなかった時、質問する以外に自分で判断できるように、見本の提示を更に工夫する。
- ・「**授業が楽しい**」を向上させるための具体策→**「達成感を高める工夫をする」**。
ポジティブな声かけ、前向きな言葉をしおりに記入する。更に、今まで以上に分かりやすい授業を実践する。
- ・「**評価方法の理解**」を向上させるための具体策→**評価した内容をより具体的に知らせる**。
作品の評価状況を紙に印刷して渡すことにより、評価方法を理解してもらう。
- ・「**学んだことを家庭で活かす**」→**家庭学習の課題を出す**。
月に1回程度、授業で学んだことの確認プリントを課題として出し、家庭学習の定着を図る。

<家庭分野>

- ・自分の技量と製作レベルのバランスを考えさせ、決められた時間内で完成できるように支援する。
- ・ビデオ教材や実物投影機を用いて、視覚を通して分かりやすく伝える授業を展開する。
- ・生活における課題を解決するために、言葉や図表等を用いて考えたり、説明したりするなどの言語活動の充実を図る。

3 学年 技術・家庭科

1 目指す学力・目指す授業

- ・基礎的・基本的な学力の定着を図り、生徒の学習意欲の向上を目指す。
- ・授業のねらいの明確化、指導内容の焦点化と流れの提示、反復学習による知識の定着化を図り、一単位時間の授業で何がわかり、何ができるようになったかを生徒自身が実感できる授業を組み立てていく。

2 生徒の現状<授業アンケートの結果から> ※太字：課題がある(達成率が50%以下)項目。

※「はい」「どちらかといえばはい」「どちらかといえばいいえ」「いいえ」の中から「はい」の割合

	技術	家庭	学年		技術	家庭	学年
忘れ物をしていない。	79%	79%	78%	目標をもって授業に	53%	45%	45%
授業がよくわかる。	38%	48%	41%	取り組んでいる			
授業が楽しい。	38%	32%	36%	学習目標や流れの説明がある	71%	58%	59%
評価方法がよくわかる。	40%	38%	41%	説明が丁寧でわかりやすい	62%	62%	61%
予習・復習をしている。	12%	13%	16%				

3 生徒の学力・学習状況等の課題

<技術分野>

- ・「授業がよく分かる」の割合が38%であることから、**授業内容の理解度向上が課題**である。
- ・「授業が楽しい」の割合が38%であることから、**授業に楽しんで取り組むことが課題**である。
- ・「評価方法がよく分かる」の割合が40%であることから、**評価方法への理解度の向上が課題**である。
- ・「予習・復習をしている」の割合が、12%であることから、**学んだことを家庭で生かしていない状況**である。

<家庭分野>

- ・意欲的に目標に向かえる生徒と、取り組み方に支援が必要と思われる生徒の意識の差が大きい。
- ・学習目標・評価方法を理解できていない生徒が多く見られるため、評価にかかわる課題を理解し、解決に向けて活動することが求められる。
- ・完成までの近道を求めがちで、途中の経過観察や課題をとらえてじっくり考える機会が必要である。
- ・授業で学んだ知識を復習として生活の中で生かすことが課題である。

4 具体的な授業改善策

<技術分野>

- ・「**授業内容の理解**」を向上させるための具体策→**手本の提示の更なる工夫**。
めあてを明確にする。応用課題で深める。授業最後の振り返りを大切にする。分からなかった時、質問する以外に自分で判断できるように、手本の提示を更に工夫する。
- ・「**授業が楽しい**」を向上させるための具体策→「**達成感を高める工夫をする**」。
ポジティブな声かけ、前向きな言葉をしおりに記入する。今まで以上に分かりやすい授業を実践する。
- ・「**評価方法の理解**」を向上させるための具体策→**評価した内容をより具体的に知らせる**。
作品の評価状況を紙に印刷して渡すことにより、評価方法を理解してもらう。
- ・「**学んだことを家庭で活かす**」→**家庭学習の課題を出す**。
定期的に授業で学んだことの確認プリントを課題として出し、家庭学習の定着を図る。

<家庭分野>

- ・生徒が主体的に学び課題解決に導くため、視覚を通して分かりやすく伝わる授業を展開する。
- ・生活における課題を解決するために、言葉や図表等を用いて考えたり、説明したりするなどの言語活動の充実を図る。